景観形成基準チェックシート（開発行為等による土地の区画形質の変更）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 景観形成基準 | 措置又は配慮の内容 | ※適否 |
| 盛土・切土 | □周囲と極端な高低差を生じるような盛土や切土は避けるよう配慮する。 |  |  |
| □自然や既存の地形を活かすよう配慮する。 |  |  |
| □道路等に囲まれた街区に対し、極端に間口が狭く奥行きが長くなるような分割や細分化は避ける。 |  |  |
| 法面 | □大規模な法面が生じないよう配慮し、芝や低木の植栽などの緑化措置に努める。 |  |  |
| □擁壁等の構造物は、可能な限り必要最小限なものとし、石材等の自然素材やこれを模したものを用いるなどの工夫に努める。 |  |  |
| 外構・緑化 | □周辺景観と調和した樹木は、可能な限り保全又は敷地内での移植を行うなど、緑化に努める。 |  |  |
| □現状において開渠となっている水路や溝渠などは、可能な限り暗渠化せず、必要に応じて移設するなど、その保全に努める。 |  |  |

備考

１　該当又は適用する景観形成基準の内容の□に✓を入れてください。また、該当しない又は適用されない欄はその旨を記入してください。

２　「措置又は配慮の内容」については、できる限り具体的に記述してください。

３　※適否欄は記入しないでください。